

うかれ 榎の木

うかれ
かやのき

結成：平成20年
感謝状：亘理町立長瀬小学校より

地元小学校を中心とした祭連にて修行を積ませていただいております。祭連メンバー(家族)の小学校卒業を機に家族5名での雀踊りユニットを結成しました。祭連所在地、太白区柳生地区に鎮座する仙台市内最古木(樹齢約1300有余年)の榎(かや)の木。この榎の木は地元の歴史的シンボルとして住民から広く愛され、地域住民のお守りとされている事を祭連名の由縁としています。(参考資料 [仙台柳生かやの木 - Wikipedia](#))



全体はからし色、襟は緑色の法被。
家族5名だけの小さな祭連でのスタートで、他の祭連が使用していない色で特色を出そうと基本色をからし色に、襟の緑色は祭連名の由来にもなっている榎の木の葉の緑色から。



扇子は黄色と紫色、金色の縁取り。
黄色は法被の色に合わせて、その対として落ち着いて渋みのある紫色をコーディネート。金色の縁取りで華やかさを示しています。

家族5名での少人数祭連で活動内容は限られていますが、各イベント等には合同祭連での参加をメインにしています。また、結成当初から各方面への指導や与力を行っています。現在では東日本大震災後に結成された南蒲生地区の祭連、南蒲生雀乃舞の立ち上げのお手伝いや練習・イベントへの参加を続けています。